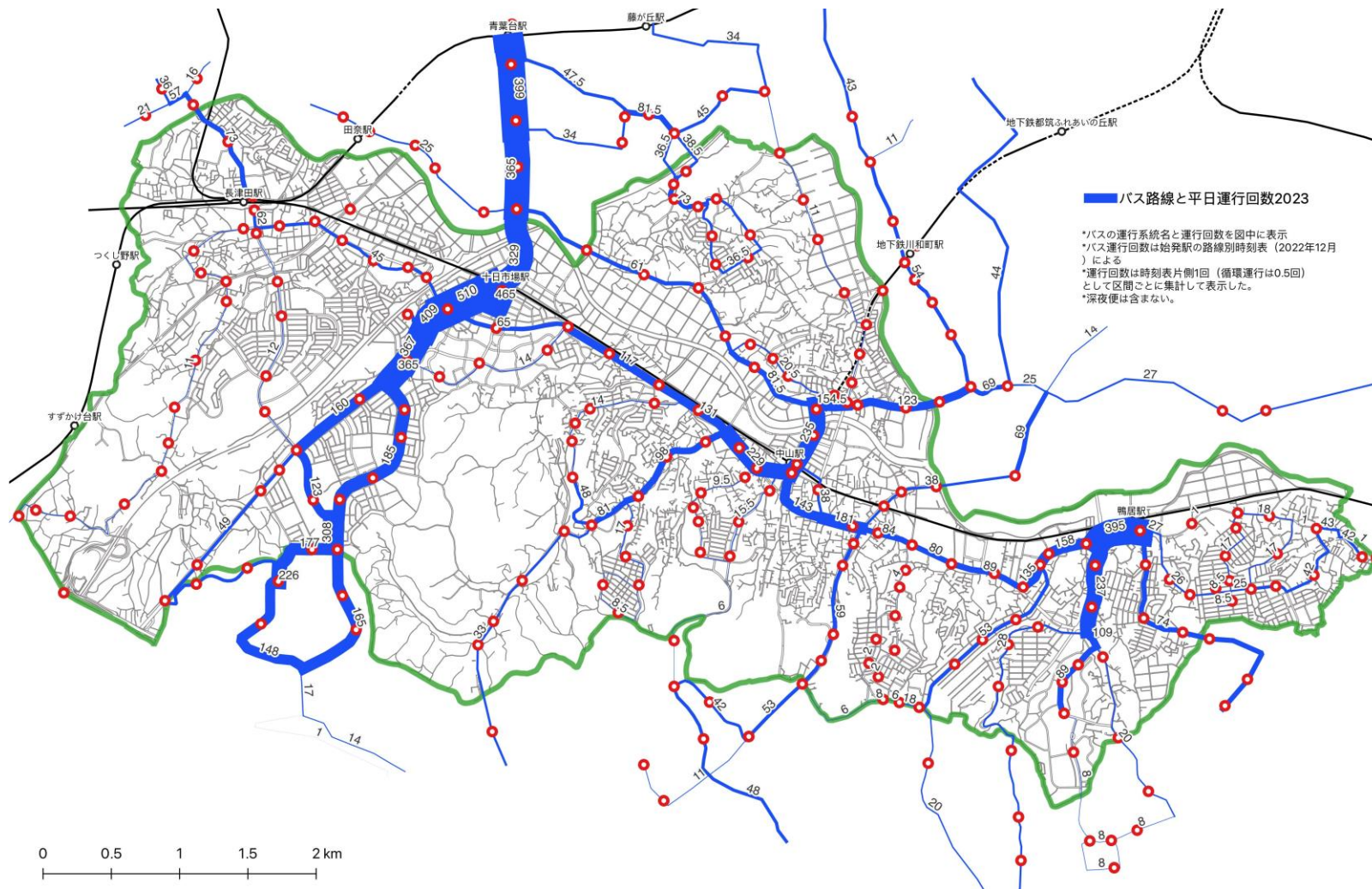
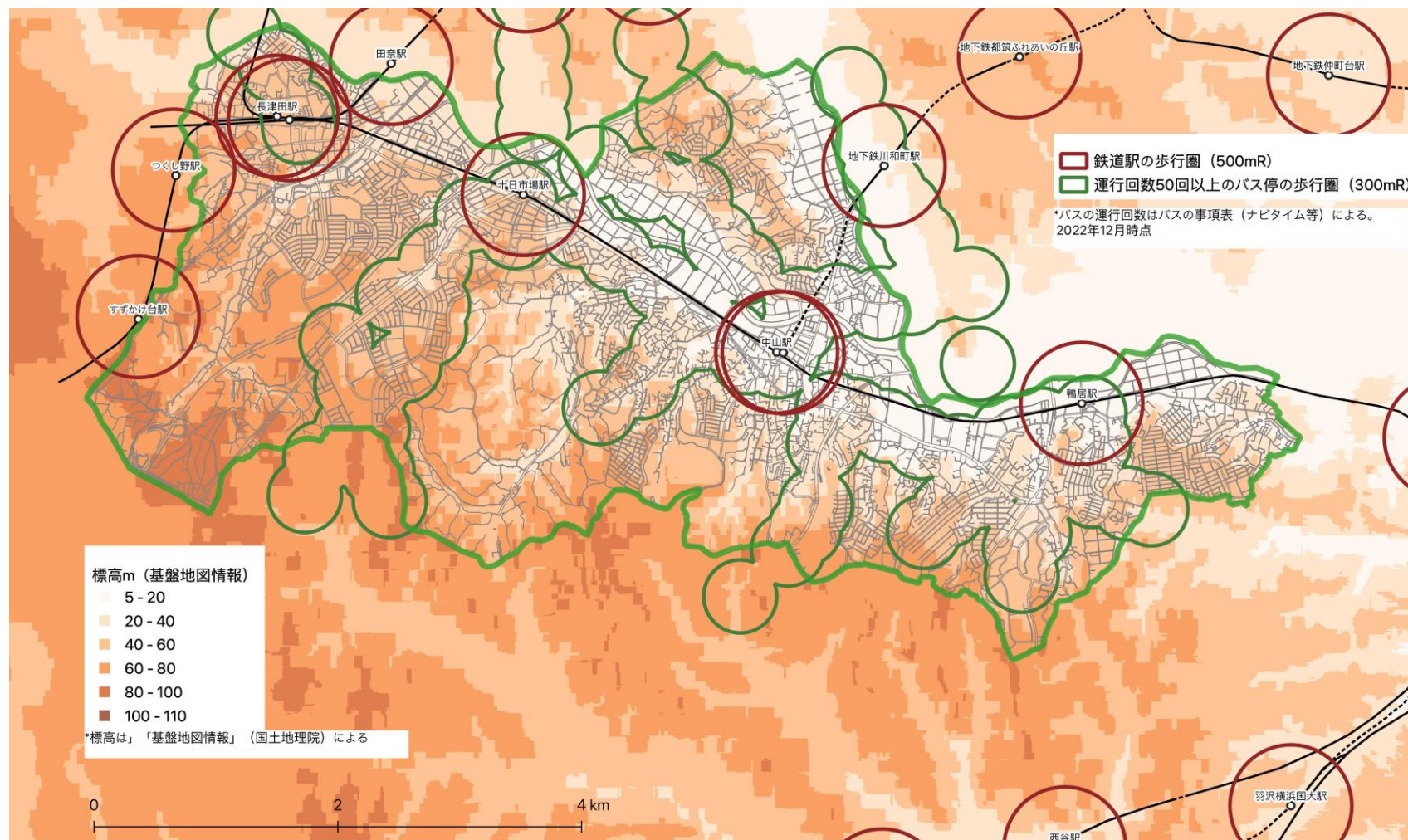


図 区間別バス運行回数(2022年12月時点)



区内の鉄道駅を中心にバス路線が構成されている。また、霧ヶ丘地区や隣接する旭区内の若葉台団地と JR 横浜線の十日市場駅や東急田園都市線青葉台駅(青葉区内)を結ぶ路線や竹山団地と JR 横浜線鴨居駅を結ぶ路線の運行回数が増えている。

図 鉄道駅徒歩圏、運行回数 50 回以上のバス停徒歩圏



地域交通の利便性を見るため、地形条件と鉄道駅からの徒歩圏、運行回数 50 回/日以上バス停からの徒歩圏(半径 300m 以内)の広がりを見た。

緑区の地域交通網は、区内を東西に横断する横浜線を軸に形成されている。緑区の南側は丘陵地となっている。地形が複雑になっており、鉄道網もないことから、バス路線は鉄道駅間を結ぶネットワークが中心になっている。

バスについて、利便性を評価するため、2022年12月時点の路線別の運行回数と、区間別の運行回数を作成した。運行回数は1往復を1回として計算・表示している。

\*バス路線と運行回数の作業方法については、「バスの路線と運行回数について」(20221222 参照)

以下では、緑区の鉄道とバスによる地域交通ネットワークの特徴を踏まえて、居住者や区民利用施設の分布状況、医療施設や高齢者施設、子育て支援施設の分布状況を重ね合わせてみた。